令和４年度 歯科疾患の医療費及び受診動向
―う蝕、歯肉炎・歯周疾患、歯及び歯の支持組織の障害―

令和６年９月
健康保険組合連合会
政策部 調査分析グループ

【調査の概要】

本調査は、1,310 組合提供の「医科」・「歯科」の電算処理レセプトデータをもとに、令和４年度における歯科疾患（①う蝕、②歯肉炎・歯周疾患、③歯及び歯の支持組織の障害）の医療費及び受診状況についてとりまとめたものです。

【調査結果のポイント】

１．疾病 19 分類別にみた「歯科：消化器系疾患」医療費
（疾病分類別医療費（医科・歯科 計 ３兆 5,467 億円）の構成割合と対前年度比伸び率）
○ 「歯科：消化器系疾患」は、15.5%（5,505 億円）と最も大きい。
○ 対前年度比伸び率は▽医科・歯科計：9.6%増加、▽「歯科：消化器系疾患」：1.9%増加。
（加入者１人当たり医療費及び対前年度比伸び率）
○ 「歯科：消化器系疾患」は２万 316 円と最も高く、対前年度比で 2.7%の増加。
２．歯科３疾患（う蝕、歯肉炎・歯周疾患、歯及び歯の支持組織の障害）の医療費
（医療費及び医療費構成割合）
○ 高い順に、▽歯肉炎及び歯周疾患：83.7%（4,609 億円）、▽う蝕：8.0%（440 億円）、▽歯及び歯の支持組織の障害：7.8%（431 億円）。
（加入者１人当たり医療費）
○ 高い順に、▽歯肉炎・歯周疾患：１万 7,012 円、▽う蝕：1,625 円、▽歯及び歯の支持組織の障害：1,590 円。
３．疾病 19 分類別にみた「歯科：消化器系疾患」の受診動向
（推計受診者数（年度平均）及び構成割合、加入者 1,000 人当たり受診者数（年度平均））
○「歯科：消化器系疾患」の推計受診者数は 1.9%（382 万人）、加入者 1,000 人当たり受診者数は 140.9 人と、いずれも最も多い。
４．歯科３疾患（う蝕、歯肉炎・歯周疾患、歯及び歯の支持組織の障害）の受診状況
（推計受診者数（年度平均）及び構成割合）
○ 高い順に、▽歯肉炎及び歯周疾患：84.4%（322 万人）、▽う蝕：9.1%（35 万人）、▽歯及び歯の支持組織の障害：6.0%（23 万人）
（加入者 1,000 人当たり受診者数（年度平均））
○ 高い順に、▽歯肉炎・歯周疾患：118.9 人、▽う蝕：12.8 人、▽歯及び歯の支持組織の障害：8.5 人。

本調査における留意点及び用語の定義

１．統計上の歯科疾患及び疾病分類別医療費の取り扱い

○　調査対象の疾患は、診療区分「歯科」の疾病 19 分類のうち、「消化器系疾患」及び「歯科 3 疾患」（①う蝕、②歯肉炎及び歯周疾患、③歯及び歯の支持組織の障害）としている。

○　「歯科」の疾病 19 分類のうち、「消化器系疾患」のみを対象としているのは、疾病 19 分類別医療費のうち、「消化器系疾患」の医療費が全体の 97.4％を占め、かつ、①う蝕、②歯肉炎及び歯周疾患、③歯及び歯の支持組織の障害―の歯科主要 3 疾患が計上されていることによる。表記については、便宜上、「歯科：消化器系疾患」とした。

○　なお、「歯科：消化器系疾患」の医療費構成割合は、▽う蝕：8.0%、▽歯肉炎及び歯周疾患：83.7%、▽歯及び歯の支持組織の障害：7.8%、▽その他：0.4%―となっており、主要 3 疾患で 99.6%を占める。

○　疾病分類別医療費等の集計方法については、公的疾病統計と同様、レセプトに記載された 1 ないし複数の傷病名のうち、主傷病となる代表疾病に基づく 1 レセプト 1 傷病名により医療費等を集計している。なお、医療費には薬剤費は含まれていない。

２．調査対象 1,310 組合の医療費データ及び加入者数

○　1,310 組合の「医科」及び「歯科」の電算処理レセプトデータを集計対象とした。

○　また、対前年度比伸び率の算出にあたっては、1,310 組合のうち、データ提供のあった令和 4 年度と 3 年度同一の 1,290 組合を集計対象としている。

令和 4 年度医療費：1,310 組合

	レセプト件数（件）	医療費総額（円）
医科	170,207,229	3,137,256,111,560
歯科：消化器系疾患	46,097,792	550,472,400,040

令和 4 年度 加入者数（年度平均）：1,310 組合

		加入者数（人）
合計		27,096,042
	本人	15,961,791
	家族	11,134,322

※ 被保険者数は、「合計」及び「男性」・「女性」の各加入者数を月平均により算出しているため、「男性」・「女性」の計が加入者「合計」とは一致しない。

対前年度比伸び率：1,290 組合（令和 4 年度及び 3 年度同一組合）

	レセプト件数（件）		医療費総額（円）	
	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 3 年度
医科	167,023,917	155,603,178	2,968,442,683,200	2,711,520,091,150
歯科：消化器系疾患	45,664,999	44,842,915	545,365,913,170	535,266,515,570

加入者数（年度平均）：1,290 組合（令和 4 年度及び 3 年度同一組合）

	加入者数（人）	
	令和 4 年度	令和 3 年度
合計	26,843,679	27,048,114
本人	15,818,463	15,749,795
家族	11,025,287	11,298,433

４．用語の定義

① 加入者 1 人当たり医療費

当該年度の医療費を、当該年度の平均加入者数（各月末の加入者数の和を 12 で除したもの）で除したもの。

② 受診率（1,000 人当たりレセプト件数）

当該年度のレセプト件数を、当該年度の平均加入者数（各月末の加入者数の和を 12 で除したもの）で除し 1,000 倍したもの。

③ レセプト 1 件当たり日数

当該年度の診療実日数をレセプト件数で除したもの。

④ 1 日当たり医療費

当該年度の医療費を診療実日数で除したもの。

⑤ 加入者 1 人当たり医療費と医療費 3 要素分解

加入者 1 人当たり医療費は、受診率、1 件当たり日数、1 日当たり医療費の積に分解することができる。

（※加入者 1 人当たり医療費＝受診率×1 件当たり日数×1 日当たり医療費）

⑥ 推計受診者数（年度平均）

当該年度の各月の受診者数の和を 12 で除したもの。これは、組合提供の月別の医療費データは集計値であり、当該年度の集計にあたっては、各月の受診者数を累計した値を 12 で除した推計値を用いている。

⑦ 加入者 1,000 人当たり受診者数

当該年度の平均受診者数を、当該年度の平均加入者数（各月末の加入者数の和を 12 で除したもの）で除し 1,000 倍したもの。

⑧ 受診者１人当たり医療費

当該年度の医療費を、当該年度の平均受診者数で除したもの。

なお、上記①の加入者１人当たり医療費は、加入者１人当たり受診者数、受診者１人当たり医療費に分解することができる。

（※加入者１人当たり医療費＝加入者１人当たり受診者数×受診者１人当たり医療費）

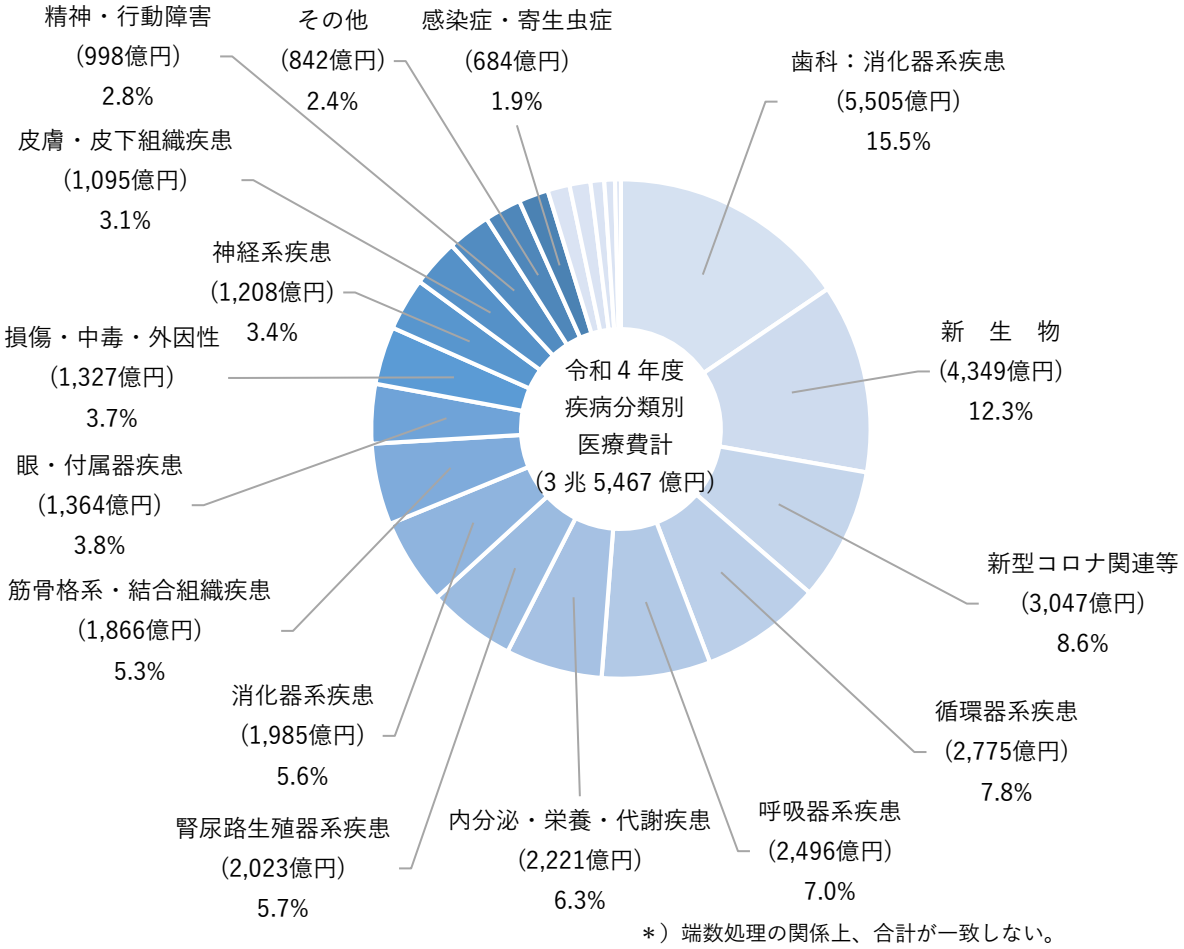
１．疾病 19 分類別にみた「歯科：消化器系疾患」医療費

（１）医療費及び医療費構成割合

○　疾病分類別医療費（医科・歯科[1]計）の構成割合をみると、「歯科：消化器系疾患」は 15.5%（5,505 億円）と最も大きく、次いで、新生物：12.3%（4,349 億円）、新型コロナ関連等：8.6%（3,047 億円）―となっている。

○　なお、対前年度比伸び率（参考数値）は、医科・歯科計：9.6%、「歯科：消化器系疾患」：1.9%の増加―となっている。

令和 4 年度 疾病分類別 医療費（医科・歯科計）及び構成割合



＊）端数処理の関係上、合計が一致しない。

【参考】対前年度比伸び率：1,290 組合ベース

	伸び率
疾病分類別医療費（医科・歯科計）	9.6%
歯科：消化器系疾患	1.9%

[1] 本調査における文中及び表中の「歯科」は、＜歯科＞の疾病 19 分類のうち、「消化器系疾患」を指している（詳細は p.2「本調査における留意点及び用語の定義」1.を参照）。

【参考】疾病分類別医療費構成割合（%）：前年度調査との比較

疾病分類名	令和４年度 （1,310 組合）	（参考）３年度調査 （1,308 組合）
歯科：消化器系疾患	15.5	16.5
新生物	12.3	12.7
新型コロナ関連等	8.6	4.5
循環器系疾患	7.8	8.2
呼吸器系疾患	7.0	7.1
内分泌・栄養・代謝疾患	6.3	6.6
腎尿路生殖器系疾患	5.7	5.0
消化器系疾患	5.6	5.8
筋骨格系・結合組織疾患	5.3	5.6
眼・付属器疾患	3.8	3.9
損傷・中毒・外因性	3.7	3.7
神経系疾患	3.4	3.4
皮膚・皮下組織疾患	3.1	3.4
精神・行動障害	2.8	3.1
その他	2.4	3.1
感染症・寄生虫症	1.9	2.2
血液・造血器・免疫障害	1.4	1.5
妊娠・分娩・産じょく	1.4	1.5
耳・乳様突起疾患	0.9	1.0
先天奇形変形・染色体異常	0.7	0.8
周産期発生病態	0.4	0.5

注）円グラフ（p.5）及び表中の「その他」は、「症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの」、「健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用」、「不詳」である。

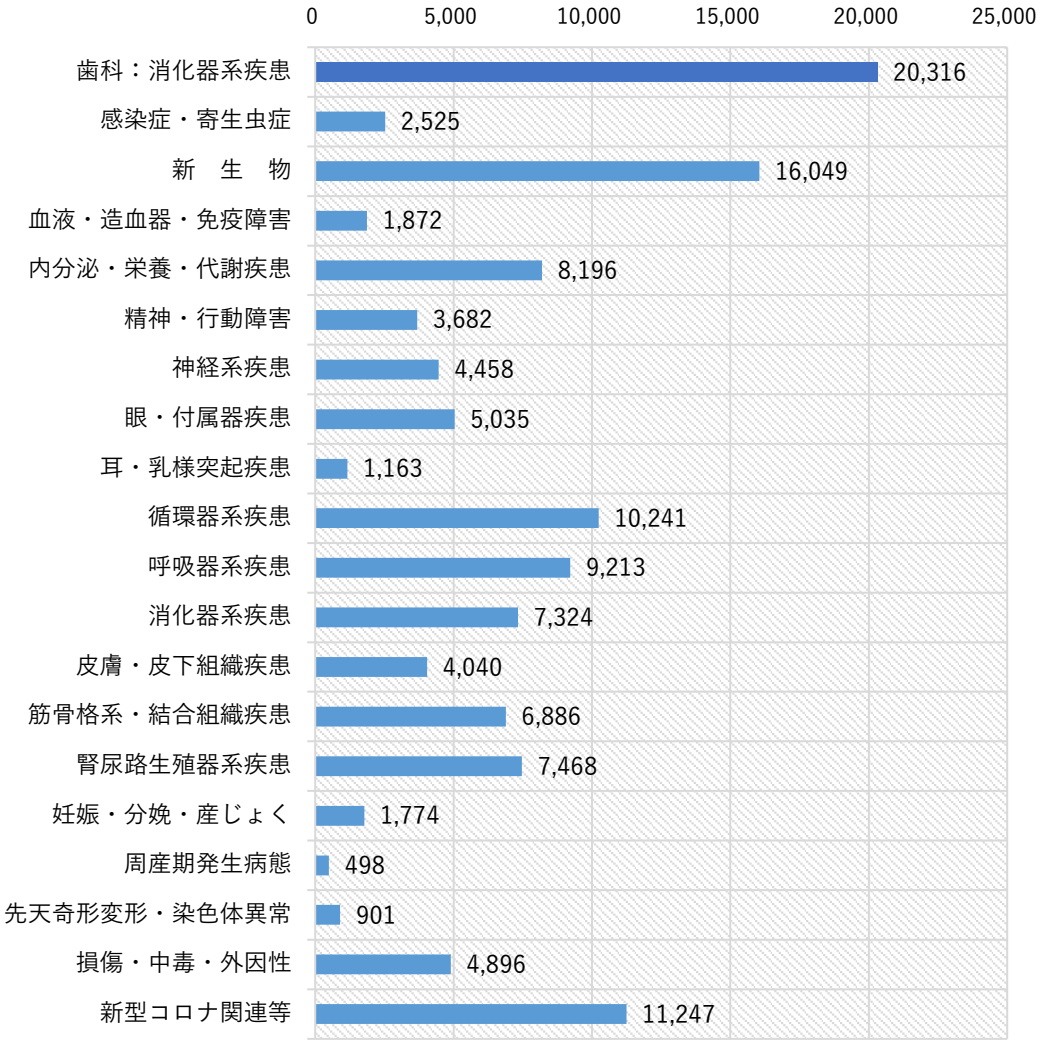
（２）加入者１人当たり医療費及び医療費３要素

○　疾病分類別にみると、「歯科：消化器系疾患」が２万 316 円と最も高く、次いで、新生物：１万 6,049 円、新型コロナ関連：１万 1,247 円となっている。

○　加入者１人当たり医療費が高い要因について、医療費３要素分解からみると、▽受診率：1,701.3 件、▽１件当たり日数：1.5 日、▽１日当たり医療費：8,023 円となっており、他の疾患に比べ、受診率が極めて高いことがわかる。

○　なお、対前年度比伸び率（参考数値）をみると、「歯科：消化器系疾患」は 2.7%の増加となっており、要因として、▽１件当たり日数は▲2.6%減少したが、▽１日当たり医療費：3.1%、▽受診率：2.6%―とそれぞれ増加した。

令和４年度 疾病分類別 加入者１人当たり医療費（円）



注）疾病分類には、便宜上、「その他」（「症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの」、「健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用」、「不詳」）を除いている（以下、同じ）。

令和４年度 加入者１人当たり医療費及び３要素

疾病分類名	加入者１人当たり医療費（円）	受診率（件/千人）	１件当たり日数（日）	１日当たり医療費（円）
歯科：消化器系疾患	20,316	1,701.3	1.5	8,023
感染症・寄生虫症	2,525	215.6	1.5	7,854
新　生　物	16,049	240.0	1.7	39,348
血液・造血器・免疫障害	1,872	28.2	1.7	40,200
内分泌・栄養・代謝疾患	8,196	543.0	1.2	12,672
精神・行動障害	3,682	310.4	1.6	7,624
神経系疾患	4,458	220.1	1.5	13,952
眼・付属器疾患	5,035	575.8	1.1	7,711
耳・乳様突起疾患	1,163	115.1	1.4	7,283
循環器系疾患	10,241	431.8	1.3	18,493
呼吸器系疾患	9,213	916.9	1.3	7,606
消化器系疾患	7,324	301.4	1.4	17,644
皮膚・皮下組織疾患	4,040	661.7	1.2	4,984
筋骨格系・結合組織疾患	6,886	384.3	2.1	8,660
腎尿路生殖器系疾患	7,468	252.4	1.8	16,595
妊娠・分娩・産じょく	1,774	19.3	3.1	29,664
周産期発生病態	498	2.2	4.0	55,365
先天奇形変形・染色体異常	901	13.4	1.5	43,864
損傷・中毒・外因性	4,896	193.3	2.1	12,287
新型コロナ関連等	11,247	495.5	1.4	15,719

【参考】令和４年度 対前年度比伸び率（%）：1,290 組合ベース

疾病分類名	加入者１人当たり医療費	受診率	１件当たり日数	１日当たり医療費
歯科：消化器系疾患	2.7	2.6	▲2.6	3.1
感染症・寄生虫症	▲3.6	▲1.5	▲2.6	0.3
新　生　物	5.7	4.8	▲1.7	2.4
血液・造血器・免疫障害	5.1	1.5	▲2.4	6.2
内分泌・栄養・代謝疾患	3.8	2.1	▲0.8	2.3
精神・行動障害	0.3	3.1	▲1.3	▲1.0
神経系疾患	8.5	8.4	▲1.4	1.5
眼・付属器疾患	7.0	5.5	▲0.9	1.8
耳・乳様突起疾患	▲2.5	0.1	▲2.8	0.5
循環器系疾患	3.7	2.2	▲0.8	2.3
呼吸器系疾患	7.9	10.4	▲2.2	0.2
消化器系疾患	4.5	▲0.5	▲0.7	6.2
皮膚・皮下組織疾患	▲2.0	▲0.8	▲0.8	▲0.4
筋骨格系・結合組織疾患	2.5	0.4	▲1.0	3.3
腎尿路生殖器系疾患	25.3	9.6	1.7	12.1
妊娠・分娩・産じょく	▲1.3	▲5.9	▲0.3	5.5
周産期発生病態	▲12.6	▲11.3	▲1.7	0.3
先天奇形変形・染色体異常	▲1.3	0.5	▲1.9	0.6
損傷・中毒・外因性	9.9	6.8	▲1.4	4.3
新型コロナ関連等	109.5	152.0	▲4.6	▲12.8

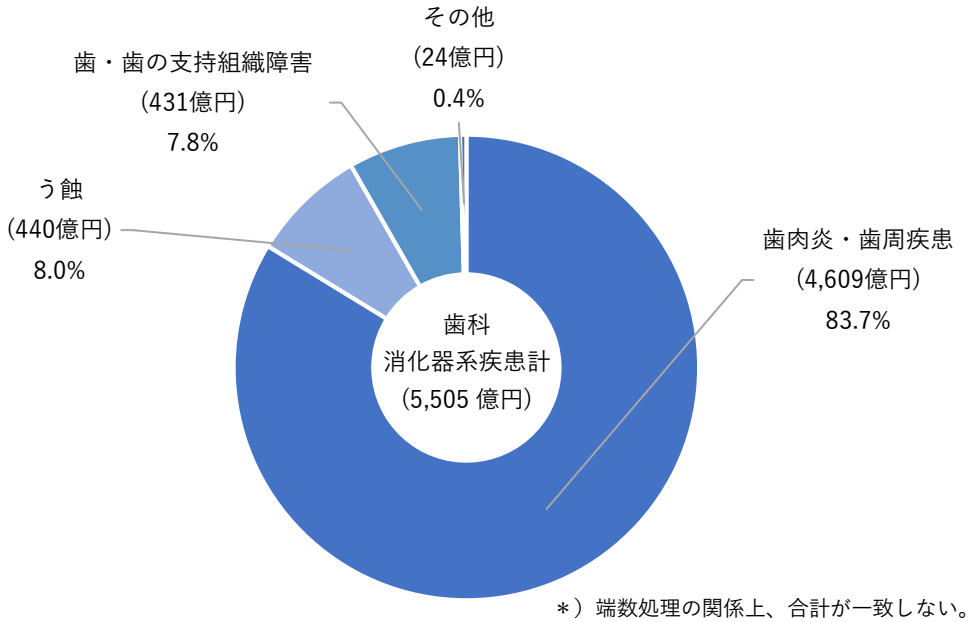
２．歯科３疾患（う蝕、歯肉炎・歯周疾患、歯及び歯の支持組織の障害）の医療費

（１）医療費及び医療費構成割合

○　「歯科：消化器系疾患」の疾患別医療費構成割合をみると、歯肉炎及び歯周疾患が83.7%（4,609 億円）と最も高く、次いで、う蝕：8.0%（440 億円）、歯及び歯の支持組織の障害：7.8%（431 億円）―となっている。

○　対前年度比伸び率（参考数値）をみると、歯及び歯の支持組織の障害が 7.2%と最も高く、次いで、う蝕：3.7%、歯肉炎・歯周疾患：1.3%―となっている。

令和４年度 歯科：消化器系疾患別 医療費及び構成割合



＊）端数処理の関係上、合計が一致しない。

令和４年度 医療費及び構成割合

	医療費（円）	構成割合（%）
歯科：消化器系疾患	550,472,400,040	100.0
う蝕	44,034,809,000	8.0
歯肉炎及び歯周疾患	460,948,600,440	83.7
歯及び歯の支持組織の障害	43,075,056,590	7.8

【参考】令和４年度 対前年度比伸び率：1,290 組合ベース

	伸び率
歯科：消化器系疾患	1.9%
う蝕	3.7%
歯肉炎・歯周疾患	1.3%
歯及び歯の支持組織の障害	7.2%

（2）加入者１人当たり医療費及び３要素

○　歯科３疾患のうち、加入者１人当たり医療費が最も高いのは、歯肉炎・歯周疾患の1万7,012円で、次いで、う蝕：1,625円、歯及び歯の支持組織の障害：1,590円―となっている。

○　歯肉炎・歯周疾患の加入者１人当たり医療費が高い要因について、医療費３要素分解からみると、受診率（千人当たり件数）：1,435.4件、1件当たり日数：1.5日、1日当たり医療費：8,042 円となっており、他の疾患に比べ受診率が極めて高くなっている。

令和４年度 加入者１人当たり医療費及び３要素

	加入者１人当たり医療費(円)	受診率(件/千人)	１件当たり日数(日)	１日当たり医療費(円)
う蝕	1,625	154.0	1.4	7,591
歯肉炎・歯周疾患	17,012	1435.4	1.5	8,042
歯及び歯の支持組織の障害	1,590	103.9	1.9	8,288

（3）加入者１人当たり医療費及び３要素の対前年度比伸び率

○　歯及び歯の支持組織の障害が8.0%の増加と最も高く、次いで、う蝕：4.4%、歯肉炎・歯周疾患：2.0%―となっている。

○　歯及び歯の支持組織の障害の伸びの要因として、１件当たり日数が▲2.1%減少した一方、受診率が5.3%、１日当たり医療費が5.0%―と、それぞれ大きく増加した。

令和４年度 対前年度伸び率（%）：1,290組合ベース

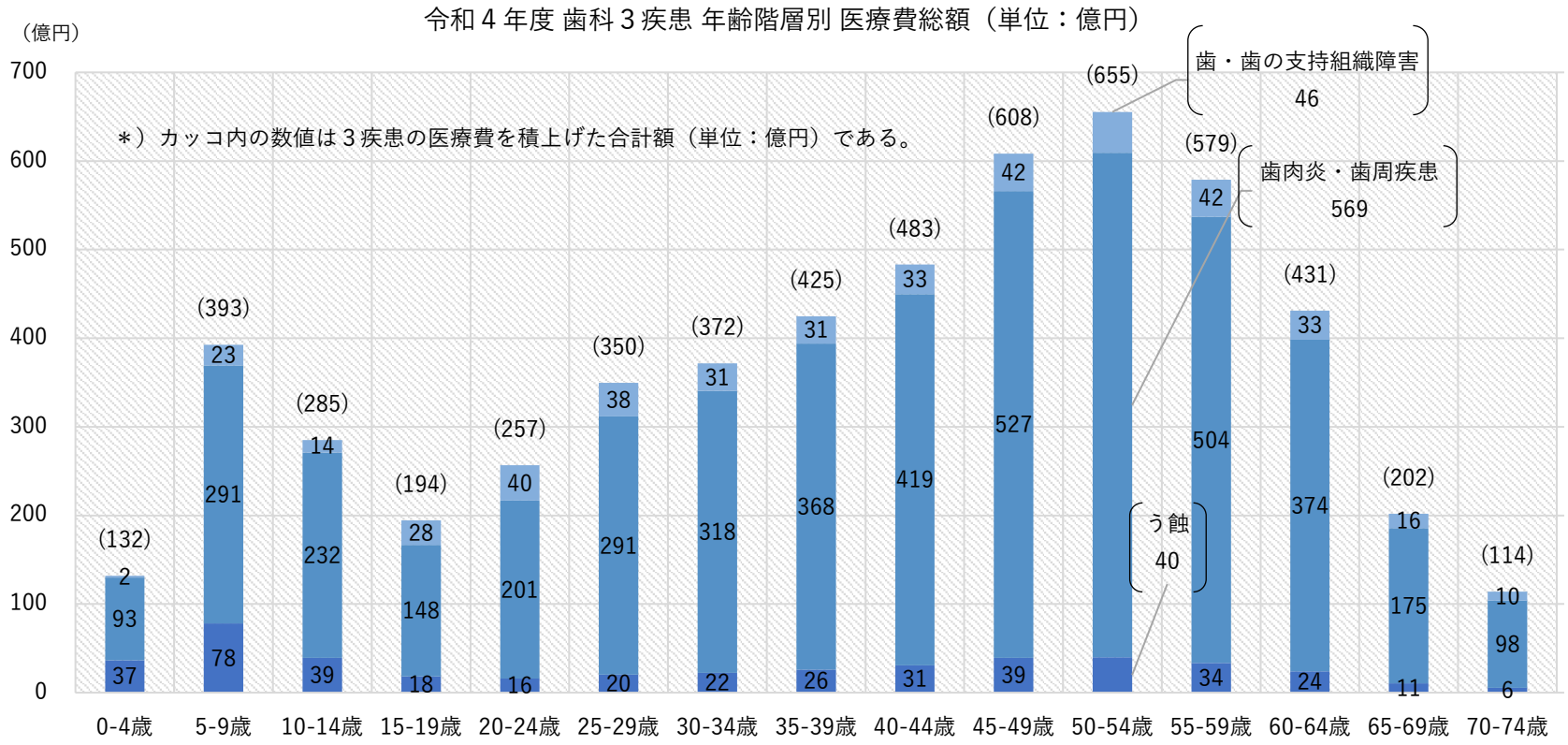
	加入者１人当たり医療費	受診率	１件当たり日数	１日当たり医療費
う蝕	4.4	2.3	▲1.4	3.3
歯肉炎・歯周疾患	2.0	2.5	▲3.3	2.9
歯及び歯の支持組織の障害	8.0	5.3	▲2.1	5.0

（４）年齢階層別にみた歯科３疾患医療費

１）医療費総額

○　年齢階層別に歯科３疾患計の医療費をみると、50-54 歳（655 億円）が最も高く、次いで、45-49 歳（608 億円）、55-59 歳（579 億円）―となっている。

○　総額が最も高い 50-54 歳の構成をみると、歯肉炎及び歯周疾患が 569 億円と最も高く、次いで、歯及び歯の支持組織の障害：46 億円、う蝕：40 億円―となっている。



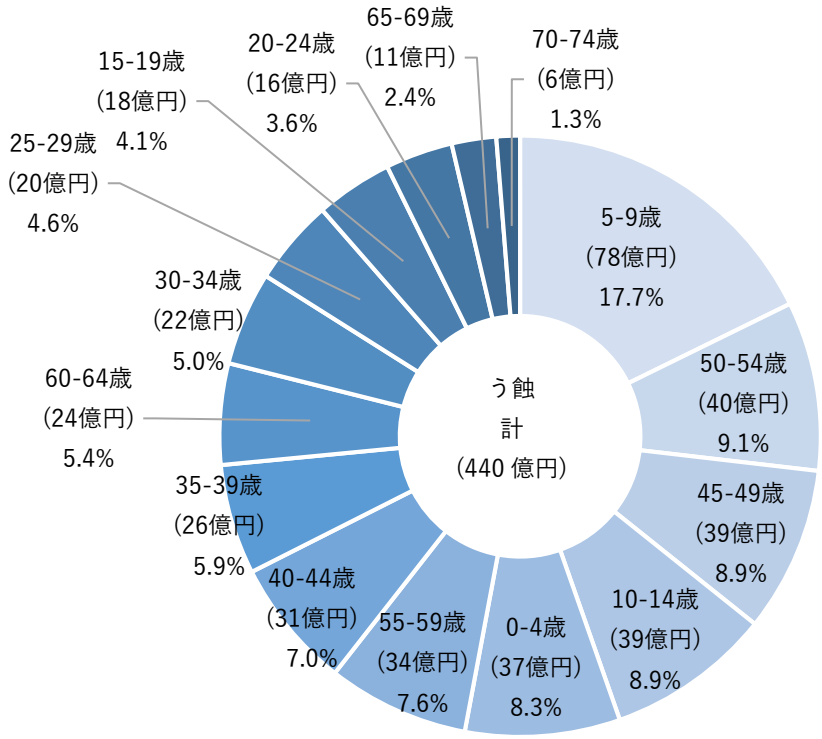
２）医療費構成割合

① う蝕

○　医療費構成割合を年齢階層別にみると、5-9 歳が 17.7%と最も高く、次いで、50-54 歳：9.1%、45-49：8.9%、10-14 歳：8.9%―となっており、乳幼児及び未就学児（0-14 歳）が全体の 35.0%を占める。

令和 4 年度 齢階層別 医療費及び構成割合

【う蝕】



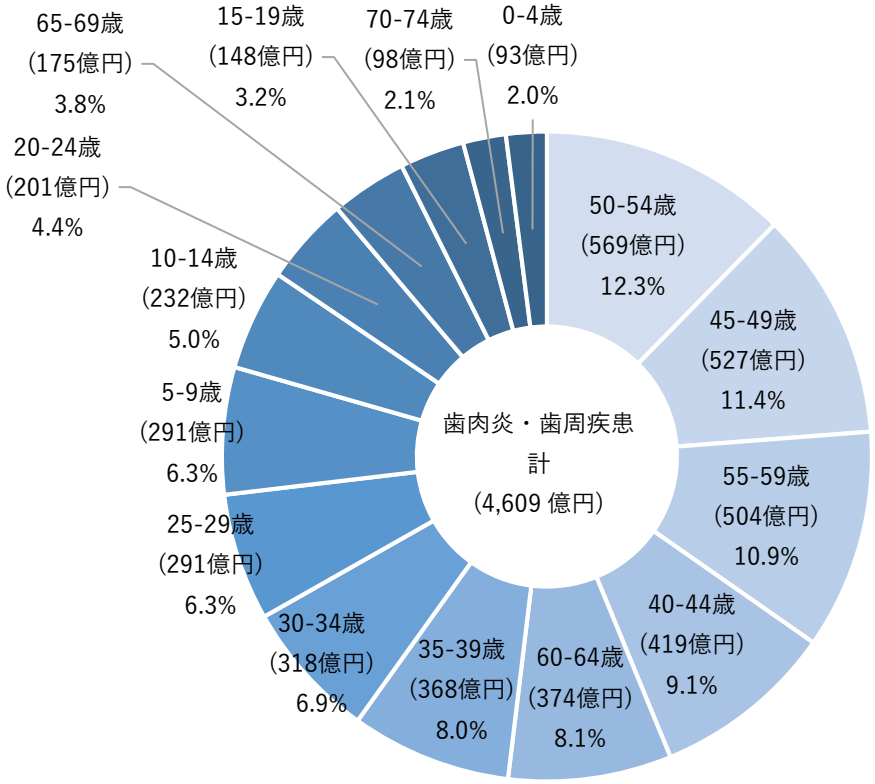
＊）端数処理の関係上、合計が一致しない（以下、同じ）。

② 歯肉炎及び歯周疾患

○　医療費構成割合を年齢階層別にみると、50-54 歳が 12.3%と最も高く、次いで、45-49 歳：11.4%、55-59 歳：10.9%―となっており、40-59 歳の層で全体の 43.8%を占める。

令和 4 年度 年齢階層別 医療費及び構成割合

【歯肉炎及び歯周疾患】

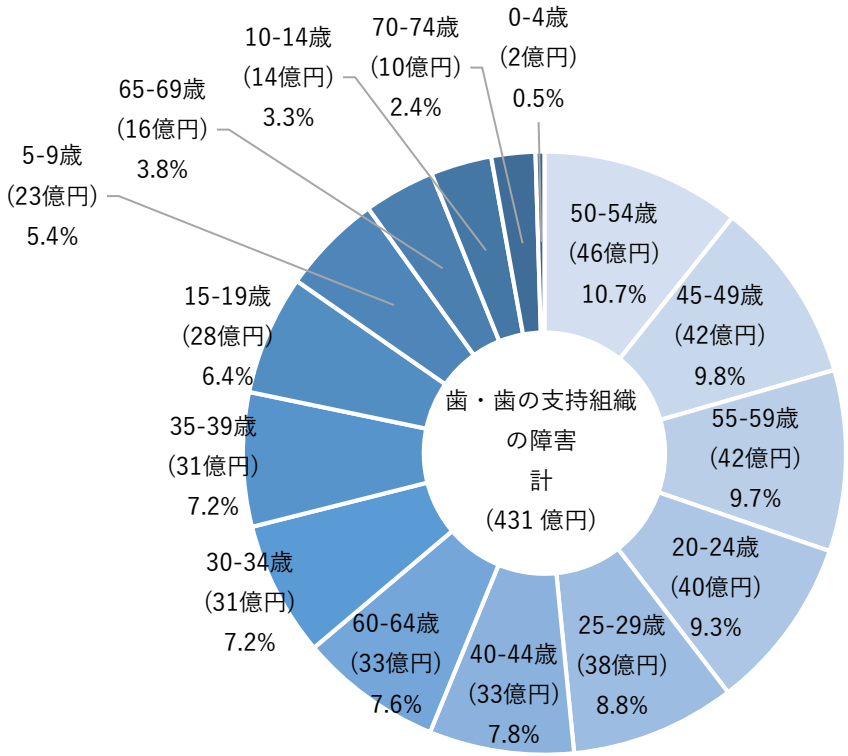


③ 歯及び歯の支持組織の障害

○　医療費構成割合を年齢階層別にみると、50-54 歳が 10.7%と最も高く、次いで、45-49 歳：9.8%、55-59 歳：9.7%―となっており、40-50 歳台で全体の 38.0%を占める。また、20 歳台及び 30 歳台も比較的高く、20-30 歳台では全体の 32.6%を占めている。

令和 4 年度 年齢階層別 医療費及び構成割合

【歯及び歯の支持組織の障害】

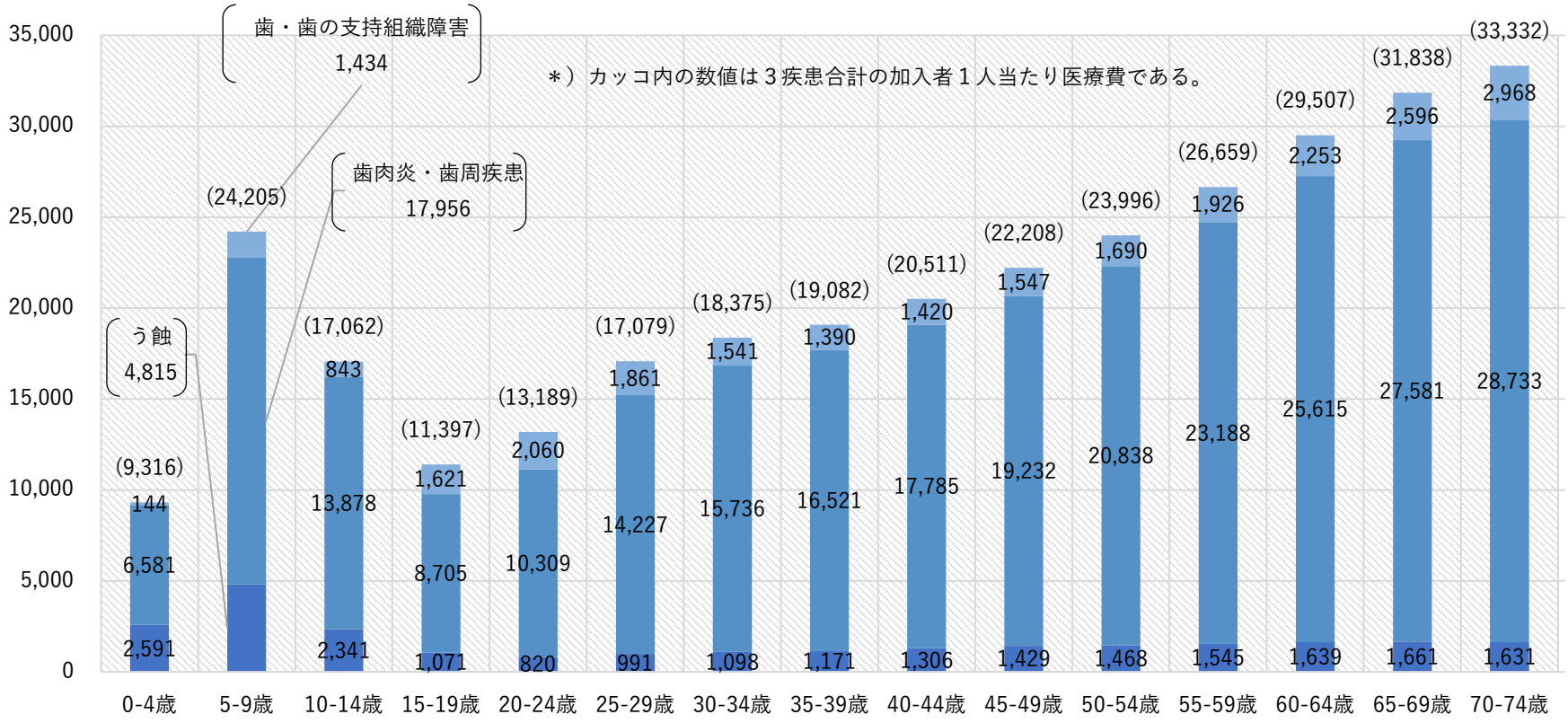


3）加入者１人当たり医療費

○　年齢層別に歯科３疾患計の加入者１人当たり医療費をみると、5-9 歳、10-14 歳で高く、15 歳以降は年齢とともに高くなる。

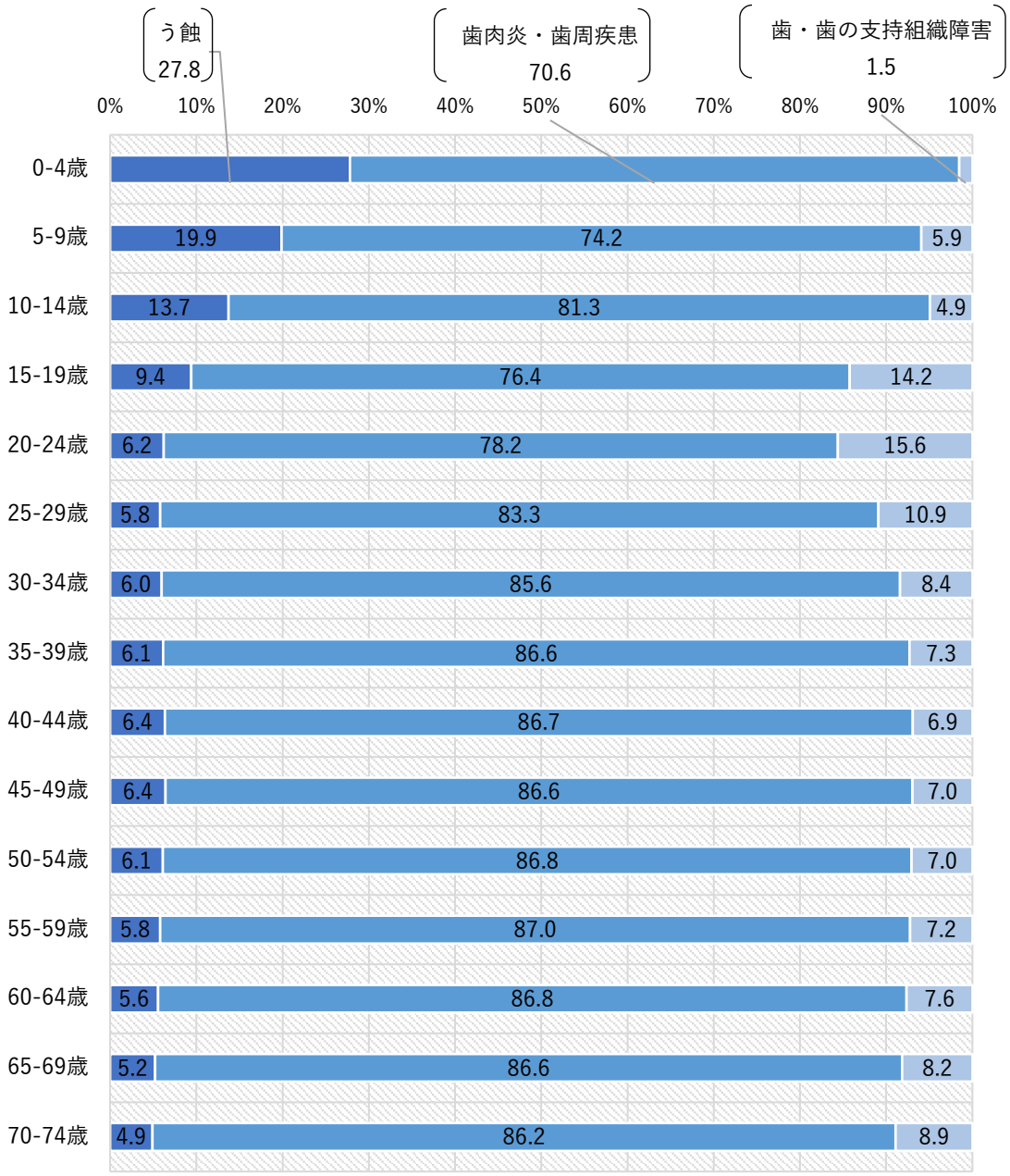
○　どの年齢階層でも歯肉炎及び歯周疾患の割合が７割以上を占め（p17）、う蝕の割合は 0-14 歳で高く、年齢とともに低くなる。歯及び歯の支持組織の割合は 15-29 歳でとくに高く、参考としてその要因を「社会医療行為別統計（令和４年６月審査分）」（厚生労働省）の「歯科」診療行為別点数を年齢階層別（p18）でみると、15-39 歳で「歯科矯正」の割合が最も高いことがわかる。

令和４年度 歯科３疾患 年齢階層別 加入者１人当たり医療費（円）



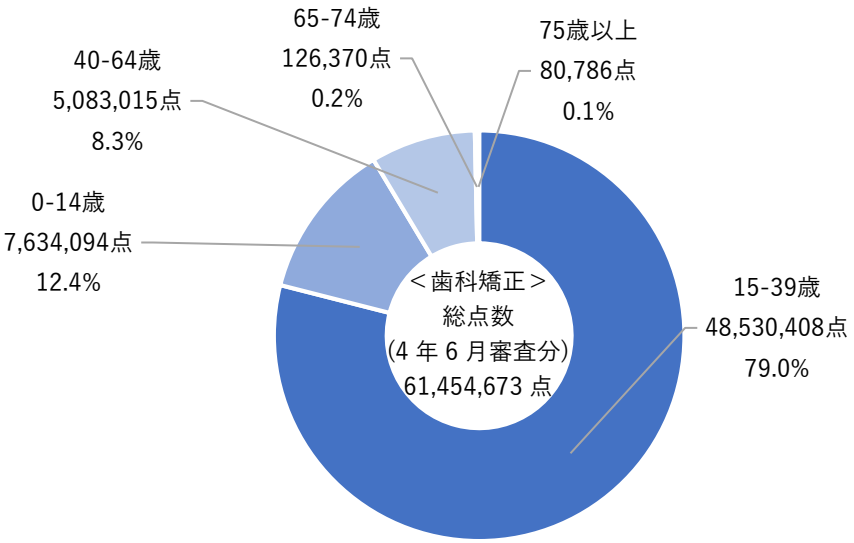
【参考】

令和４年度 歯科３疾患 年齢階層別 医療費構成割合(%)



【参考】社会医療診療行為別統計（令和４年６月審査分）：

年齢階層別 歯科矯正 点数及び構成割合



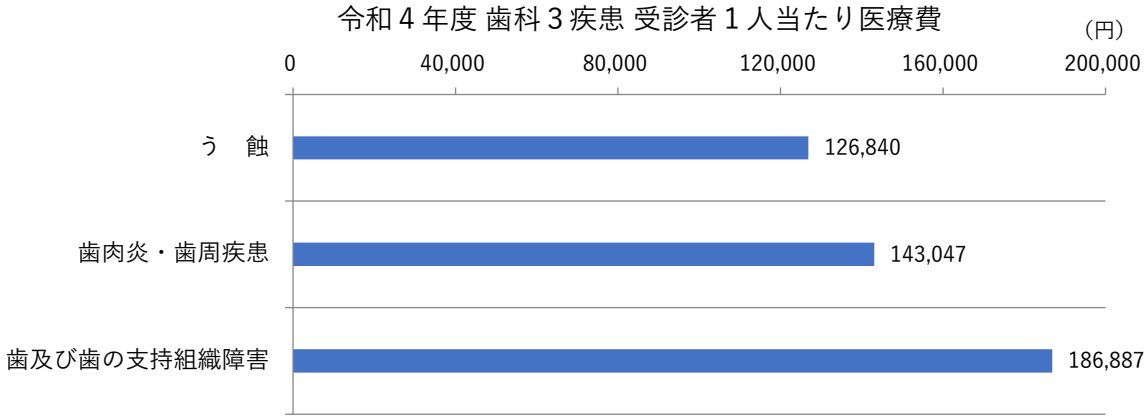
年齢階層別「歯科」診療行為別点数（令和４年６月審査分）

	0～14 歳	15～39 歳	40～64 歳	65～74 歳	75 歳以上
総数	1,934,282,747	4,043,834,555	8,316,208,227	4,472,208,923	5,396,545,397
初・再診	394,883,334	558,078,479	1,030,533,083	514,963,464	530,916,947
医学管理等	471,441,499	556,583,132	1,191,751,095	645,668,012	635,951,322
在宅医療	2,949,831	14,559,026	51,027,955	68,345,651	643,351,339
検査	111,340,895	369,372,551	704,809,150	314,227,132	280,332,971
画像診断	72,383,152	286,051,287	384,241,167	150,956,479	138,038,302
投薬	9,995,557	46,539,744	87,008,318	48,215,415	54,247,068
注射	161,601	2,300,224	7,546,379	7,361,418	8,814,067
リハビリテーション	1,446,711	2,081,774	45,079,747	93,728,094	183,828,535
処置	460,933,234	852,762,850	1,781,025,601	830,244,918	803,656,493
手術	38,883,648	181,580,192	194,378,287	105,409,348	116,175,037
麻酔	11,169,650	35,828,106	29,081,477	9,734,584	9,266,357
放射線治療	-	141,980	1,421,360	1,224,650	1,793,310
歯冠修復及び欠損補綴	340,328,112	1,030,271,122	2,749,084,122	1,651,780,398	1,940,295,524
歯科矯正	7,634,094	48,530,408	5,083,015	126,370	80,786
病理診断	536,285	2,666,845	7,081,175	4,190,355	4,665,970
入院料等	10,192,056	56,459,460	47,027,613	26,023,764	45,122,428

資料：厚生労働省「令和４年社会医療診療行為別統計」、統計表「第 13：歯科の診療行為別点数、一般医療-後期医療・年齢階級別」をもとに作成。

【参考】受診者１人当たり医療費

○　歯及び歯の支持組織の障害が 18 万 6,887 円と最も高く、次いで、歯肉炎・歯周疾患：14 万 3,047 円、う蝕：12 万 6,840 円。



令和４年度 受診者１人当たり医療費

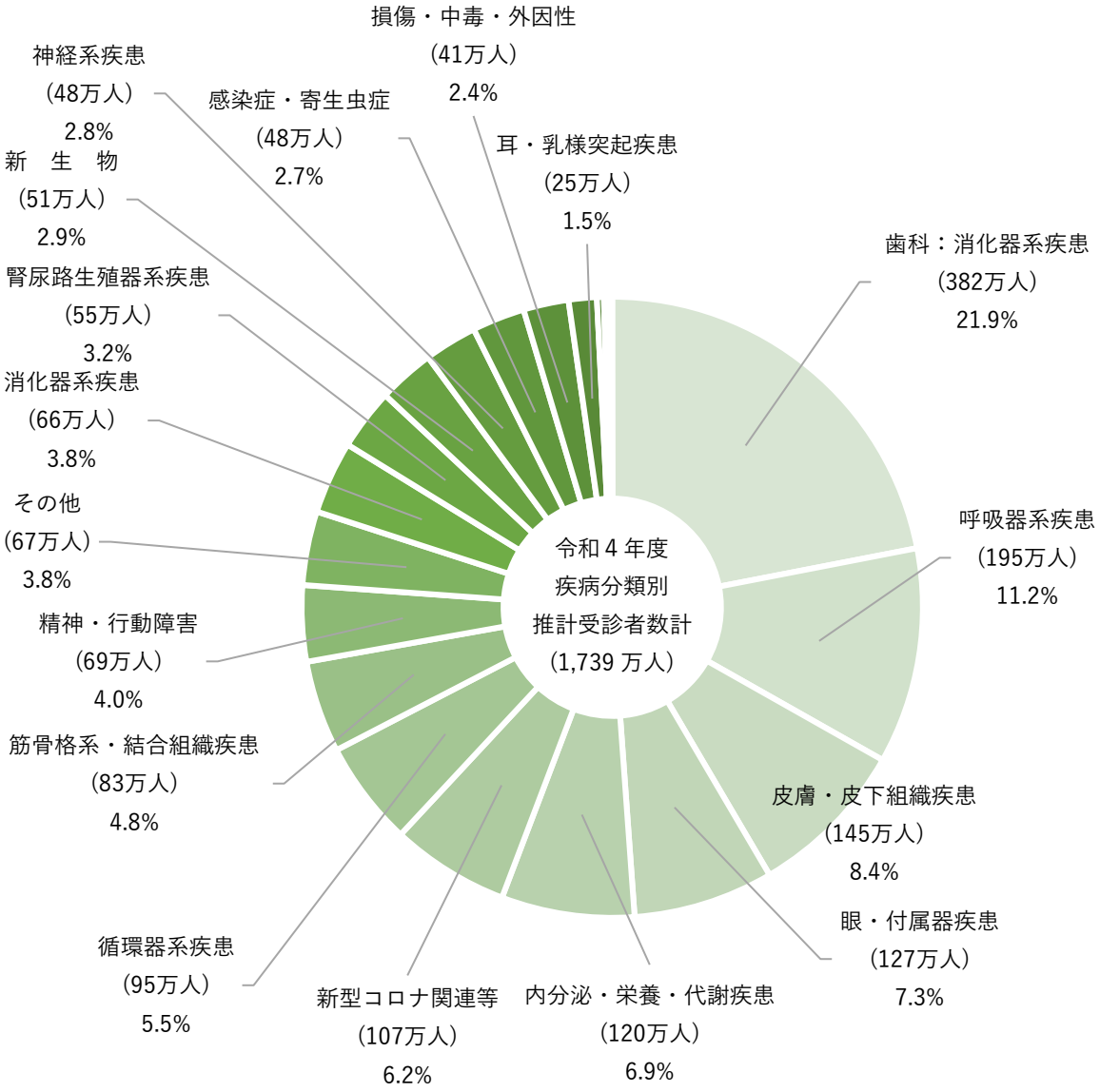
	受診者１人当たり医療費(円)	加入者 1,000 人当たり受診者数(人)	加入者１人当たり医療費(円)
う蝕	126,840	12.8	1,625
歯肉炎・歯周疾患	143,047	118.9	17,012
歯及び歯の支持組織の障害	186,887	8.5	1,590

３．疾病 19 分類別にみた「歯科：消化器系疾患」の受診動向

（１）推計受診者数（年度平均）及び構成割合

○　疾病分類別推計受診者数（医科・歯科[2]計）の構成割合をみると、「歯科：消化器系疾患」は 21.9%（382 万人）と最も大きく、次いで、呼吸器系疾患：11.2%（195 万人）、皮膚・皮下組織疾患：8.4%（145 万人）―となっている。

令和 4 年度 疾病分類別 推計受診者数（年度平均）及び構成割合

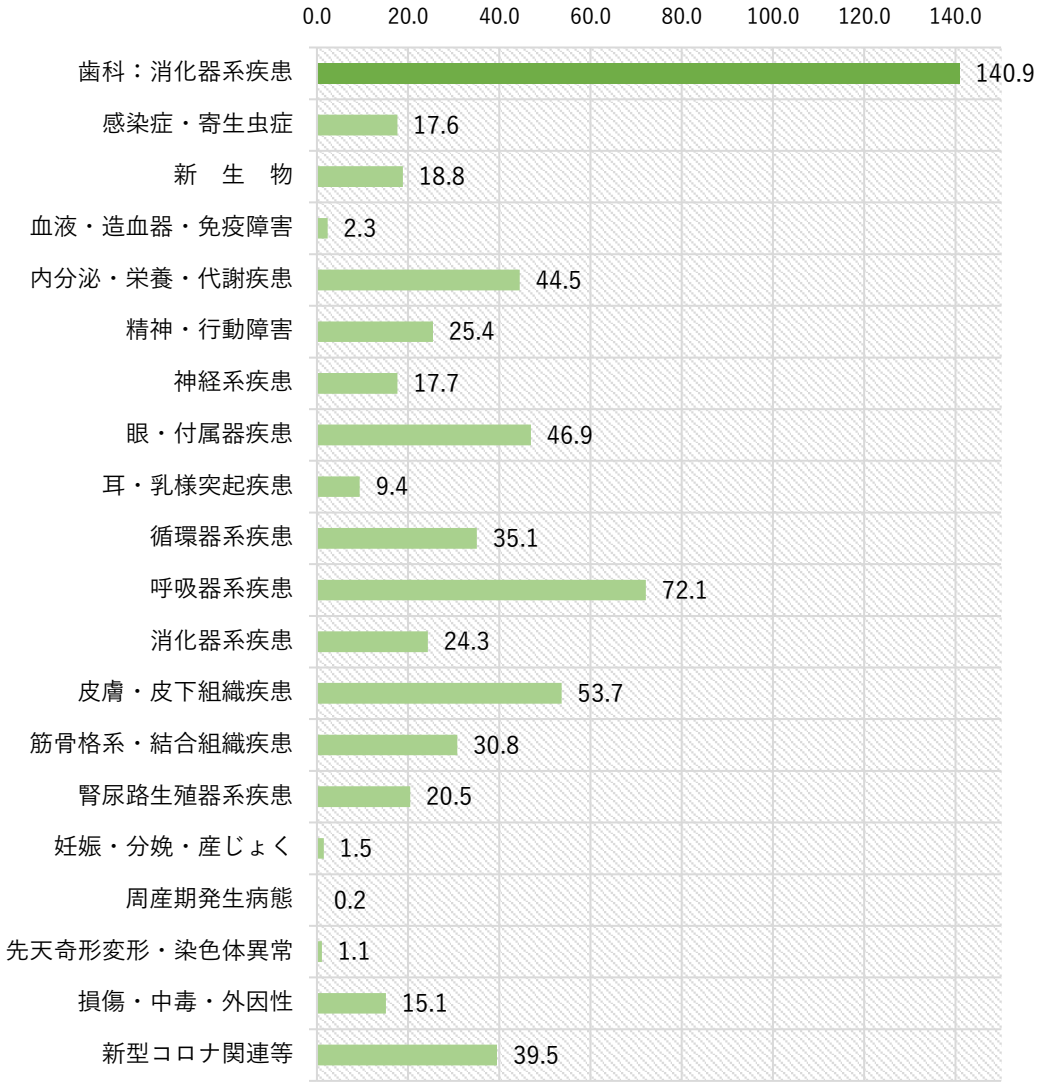


[2] 本調査における文中及び表中の「歯科」は、＜歯科＞の疾病 19 分類のうち、「消化器系疾患」を指している（詳細は p.2「本調査における留意点及び用語の定義」1.を参照）。

（２）加入者 1,000 人当たり受診者数（年度平均）

○　疾病 19 分類（医科・歯科）計でみると、「歯科：消化器系疾患」が 140.9 人と最も多く、次いで、呼吸器系疾患：72.1 人、皮膚・皮下組織疾患：53.7 人となっている。

令和 4 年度 疾病分類別 加入者1,000人当たり受診者数（人）



令和４年度 推計受診者数（年度平均）及び加入者 1,000 人当たり受診者数

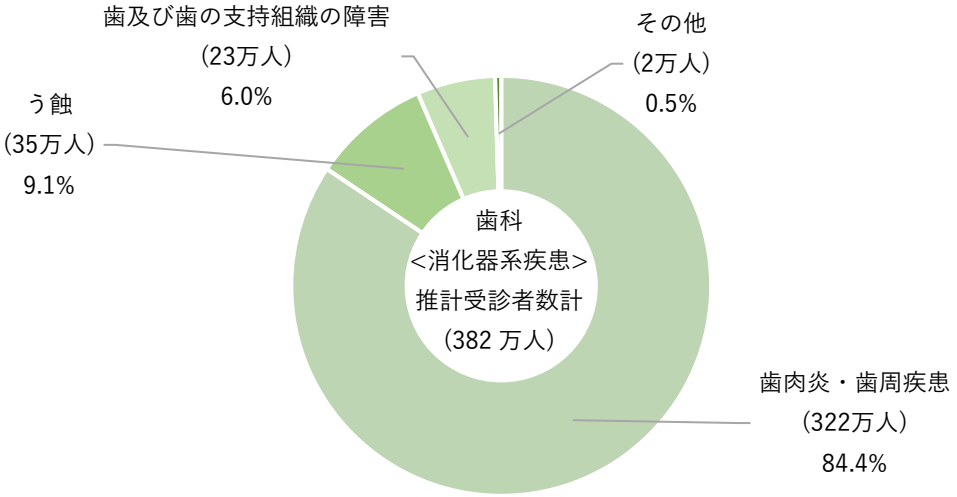
	推計受診者数（年度平均）（人）	加入者 1,000 人当たり受診者数（人）
歯科：消化器系疾患	3,817,785	140.9
感染症・寄生虫症	477,563	17.6
新　生　物	510,686	18.8
血液・造血器・免疫障害	63,063	2.3
内分泌・栄養・代謝疾患	1,204,634	44.5
精神・行動障害	688,438	25.4
神経系疾患	478,353	17.7
眼・付属器疾患	1,270,929	46.9
耳・乳様突起疾患	254,340	9.4
循環器系疾患	950,788	35.1
呼吸器系疾患	1,954,756	72.1
消化器系疾患	658,462	24.3
皮膚・皮下組織疾患	1,453,763	53.7
筋骨格系・結合組織疾患	833,635	30.8
腎尿路生殖器系疾患	554,411	20.5
妊娠・分娩・産じょく	40,146	1.5
周産期発生病態	4,847	0.2
先天奇形変形・染色体異常	29,512	1.1
損傷・中毒・外因性	409,698	15.1
新型コロナ関連等	1,070,176	39.5

４．歯科３疾患（う蝕、歯肉炎・歯周疾患、歯及び歯の支持組織の障害）の受診状況

（１）推計受診者数（年度平均）及び構成割合

○　「歯科：消化器系疾患」の疾患別推計受診者数の構成割合をみると、歯肉炎及び歯周疾患が 84.4%（322 万人）と最も高く、次いで、う蝕：9.1%（35 万人）、歯及び歯の支持組織の障害：6.0%（23 万人）―となっている。

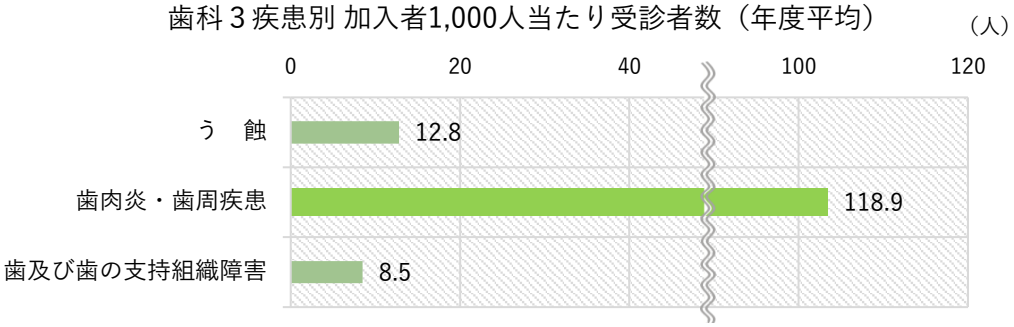
令和４年度 歯科：消化器系疾患別 推計受診者数（年度平均）及び構成割合



（２）加入者 1,000 人当たり受診者数（年度平均）

○　歯肉炎・歯周疾患が 118.9 人と最も多く、次いで、う蝕：12.8 人、歯及び歯の支持組織の障害：8.5 人。

令和４年度
歯科３疾患別 加入者1,000人当たり受診者数（年度平均）



推計受診者数及び加入者 1,000 人当たり受診者数

	推計受診者数（年度平均）（人）	加入者 1,000 人当たり受診者数（人）
う蝕	347,169	12.8
歯肉炎・歯周疾患	3,222,363	118.9
歯及び歯の支持組織の障害	230,487	8.5

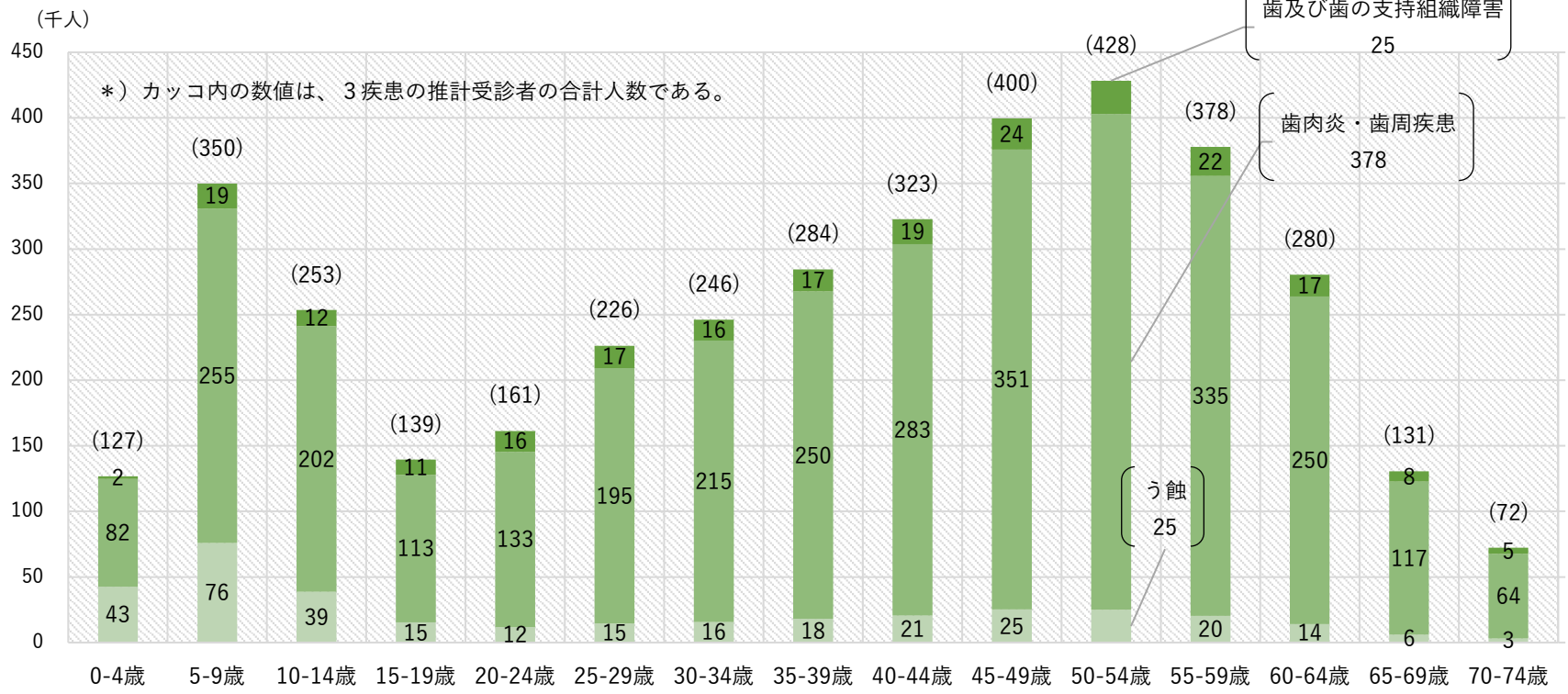
（３）年齢階層別にみた推計受診者数

１）推計受診者数（年度平均）

○　年齢階層別に歯科３疾患計の推計受診者数をみると、50-54 歳（42 万 8,000 人）が最も多く、次いで、45-49 歳（40 万人）、55-59 歳（37 万 8,000 人）―となっている。

○　総数が最も多い 50-54 歳の３疾患別推計受診者数をみると、歯肉炎及び歯周疾患（37 万 8,000 人）が最も多く、次いで、歯及び歯の支持組織の障害（2 万 5,000 人）、う蝕（2 万 5,000 人）―となっている。

令和４年度 歯科３疾患 年齢階層別 推計受診者数（年度平均：千人）

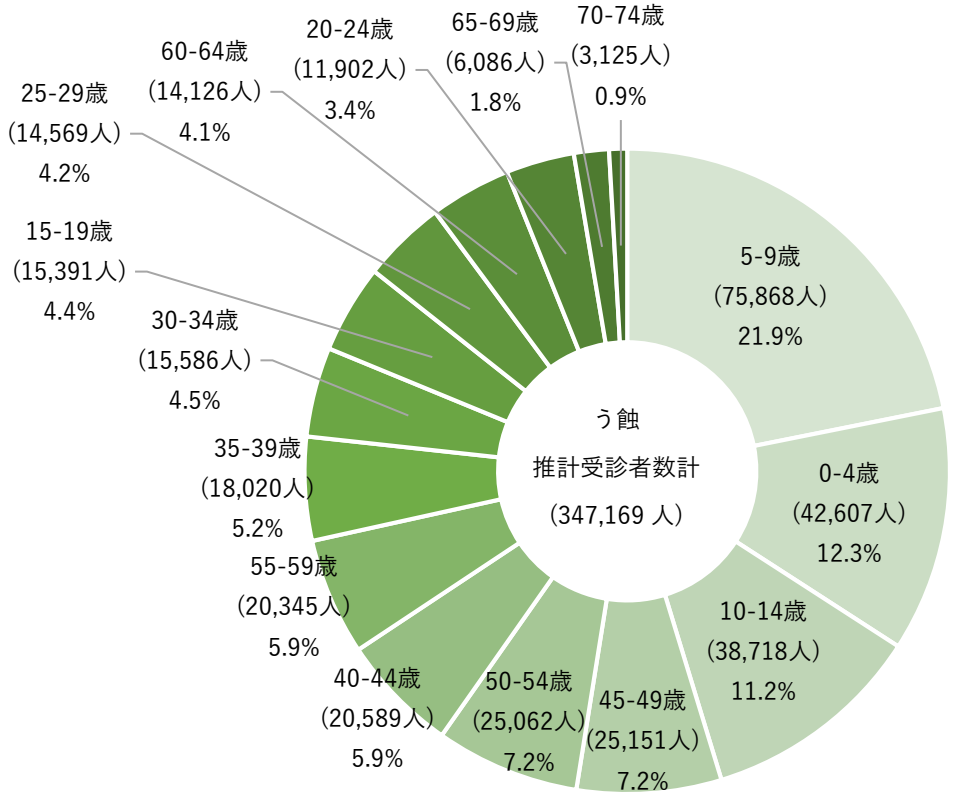


２）３疾患別にみた年齢階層別推計受診者数の構成割合

① う蝕

○　推計受診者数（年度平均）を年齢階層別にみると、5-9 歳が 21.9%（7 万 5,868 人）と最も高く、次いで、0-4 歳：12.3%（4 万 2,607 人）、10-14 歳：11.2%（3 万 8,718 人）―となっており、乳幼児及び未就学児（0-14 歳）が全体の 45%を占める。

令和４年度 年齢階層別　推計受診者数（年度平均）及び構成割合

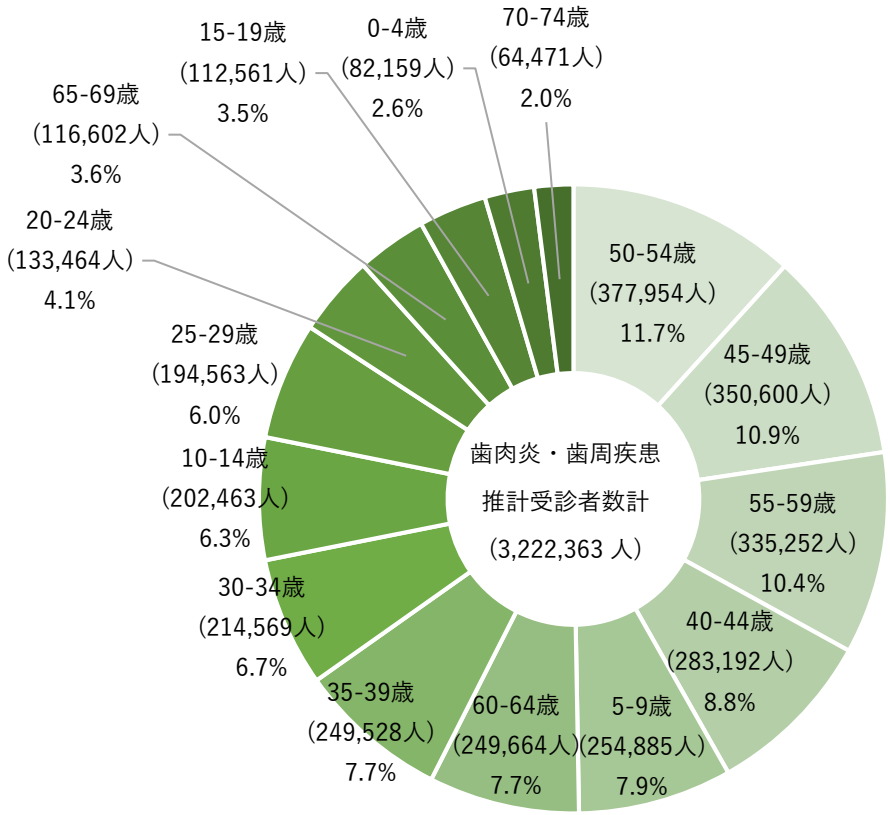


＊）年齢階層ごとに推計受診者数（年度平均）を算出しているため、合計が一致しない（以下、同じ）。

② 歯肉炎及び歯周疾患

○　推計受診者数（年度平均）を年齢階層別にみると、50-54 歳が 11.7%（37 万 7,954 人）と最も高く、次いで、45-49 歳：10.9%（35 万 600 人）、55-59 歳：10.4%（33 万 5,252 人）、40-44 歳：8.8%（28 万 3,192 人）―となっており、40～50 歳台で全体の約 4 割を占める。

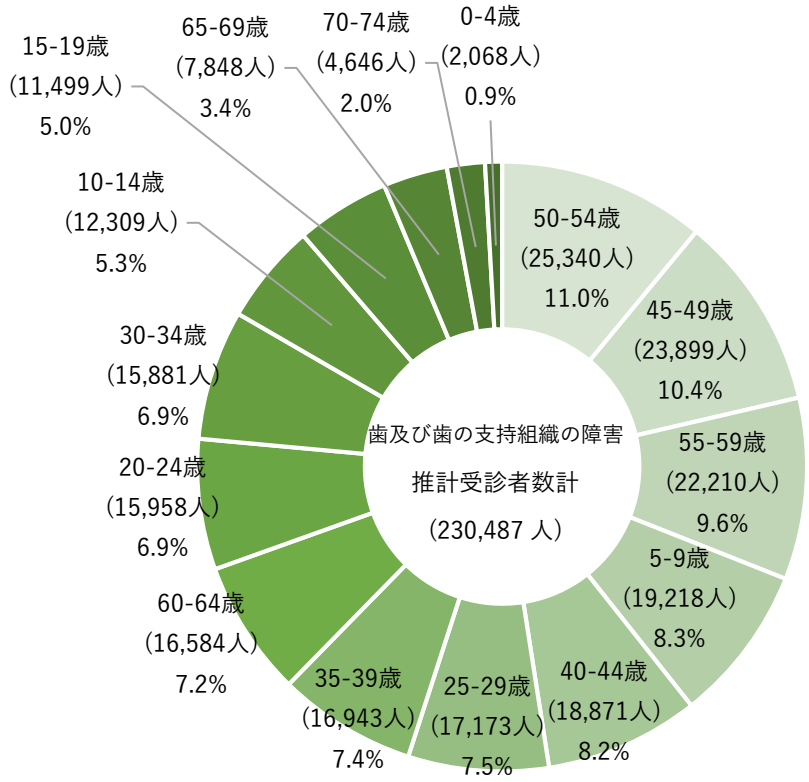
令和 4 年度 年齢階層別 推計受診者数（年度平均）及び構成割合



③ 歯及び歯の支持組織の障害

○　推計受診者数（年度平均）を年齢階層別にみると、50-54 歳が 11.0%（2 万 5,340 人）と最も高く、次いで、40-49 歳：10.4%（2 万 3,899 人）、50-59 歳：9.6%（2 万 2,210 人）―となっており、40～50 歳台で全体の約 4 割を占める。

令和 4 年度 年齢階層別 推計受診者数（年度平均）及び構成割合

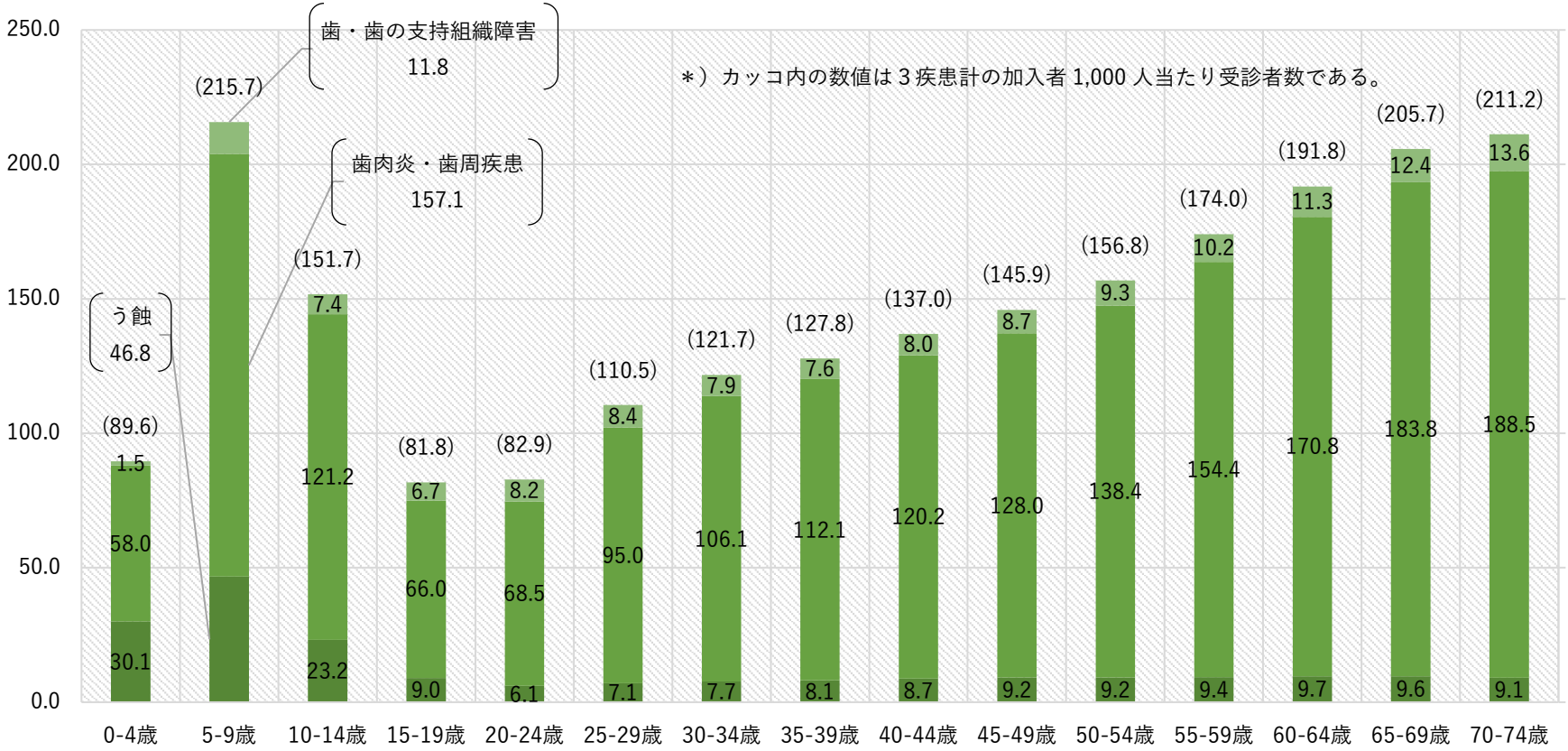


（４）加入者 1,000 人当たり受診者数（年度平均）

○　歯科３疾患計の加入者 1,000 人当たり受診者数を年齢階層別にみると、5-9 歳が最も多く、15 歳以降は年齢とともに多くなる。

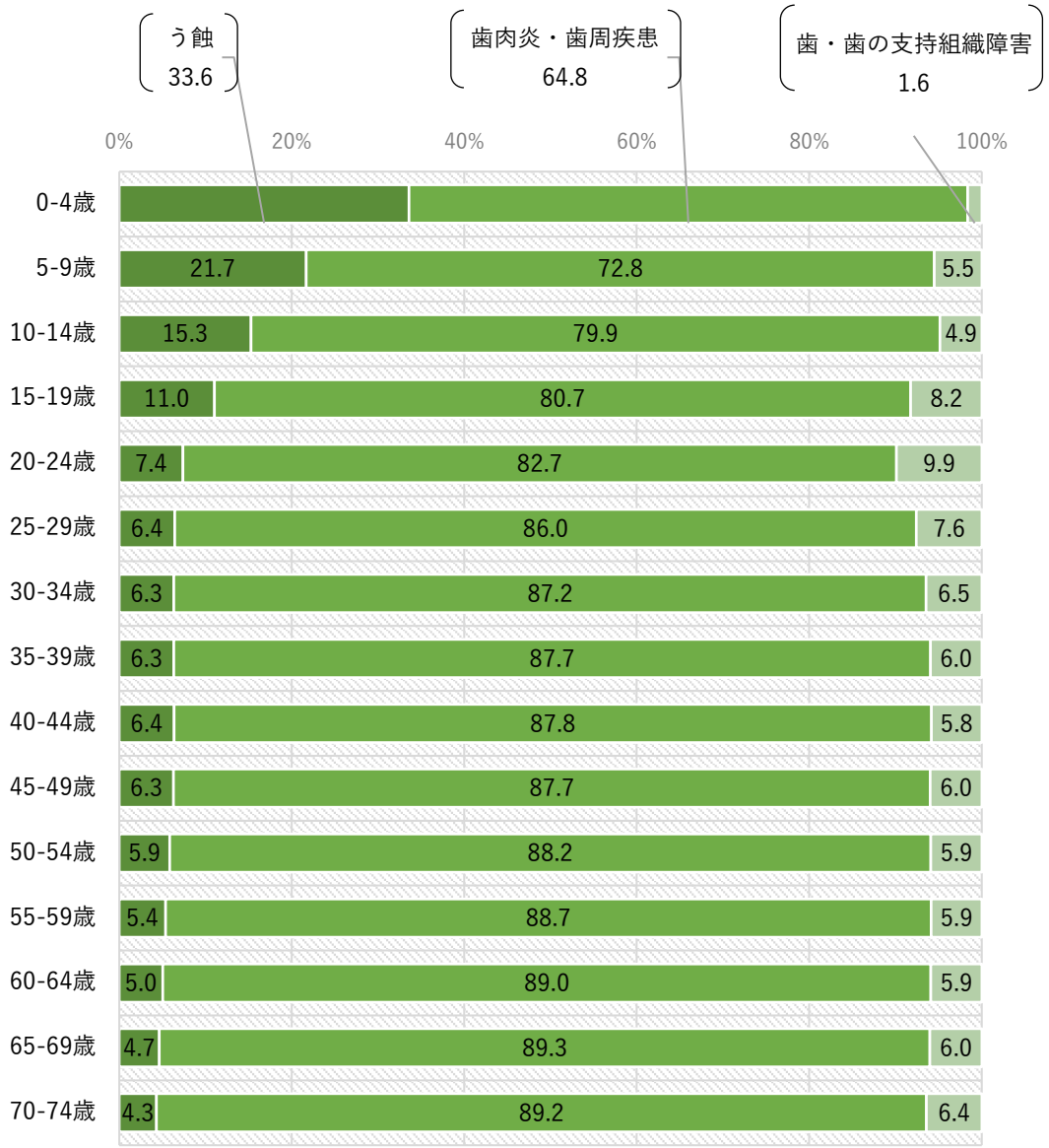
○　また、どの年齢階層においても歯肉炎及び歯周疾患の割合が７割以上を占め（p.29【参考】)、う蝕の割合は 0-9 歳でとくに高く、年齢とともに低くなり、歯及び歯の支持組織の割合は 15-29 歳で高い。

令和４年度 歯科３疾患 年齢階層別 加入者1,000人当たり受診者数（人）



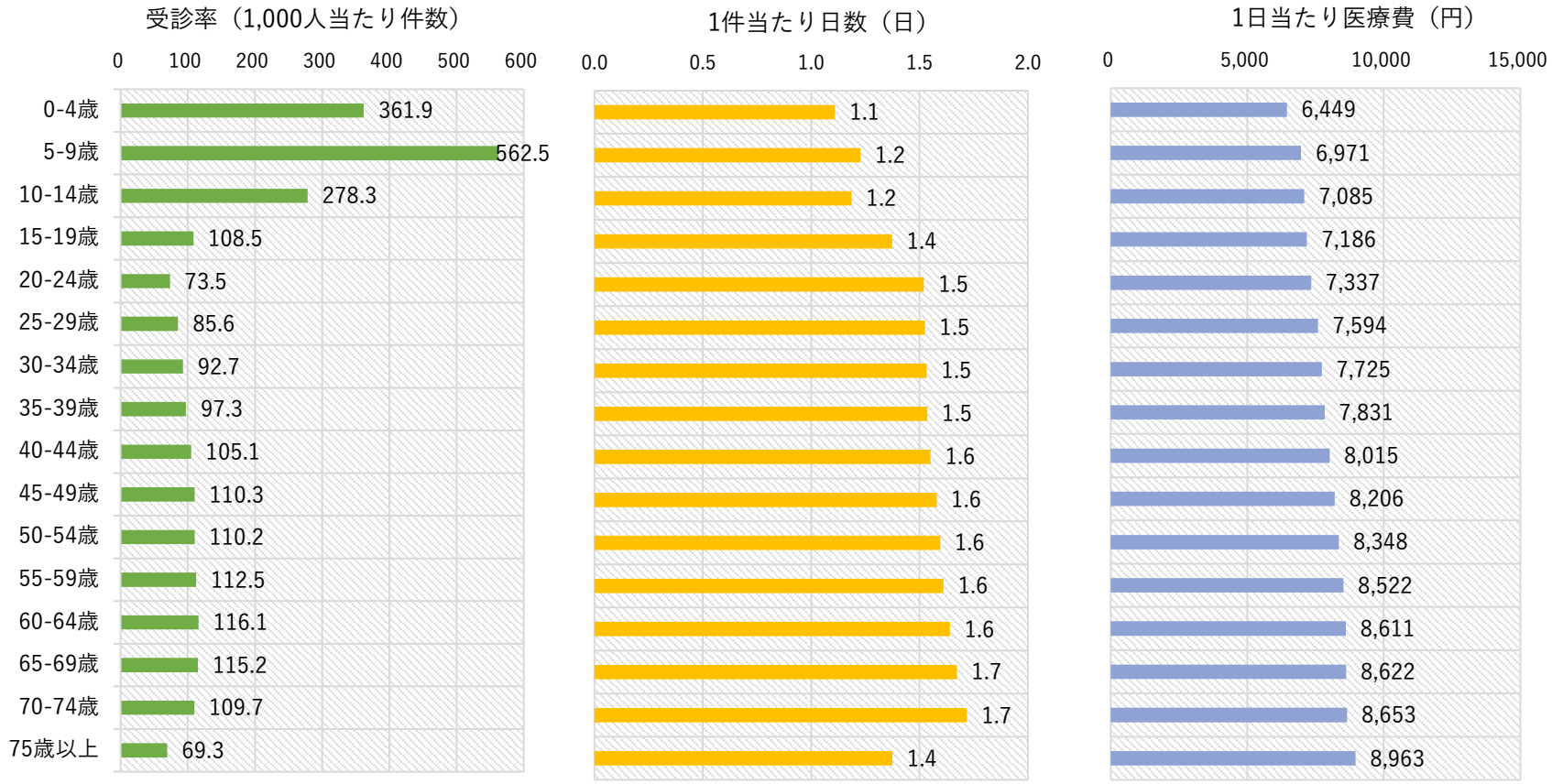
【参考】

令和４年度 歯科３疾患 受診者数 構成割合(%)

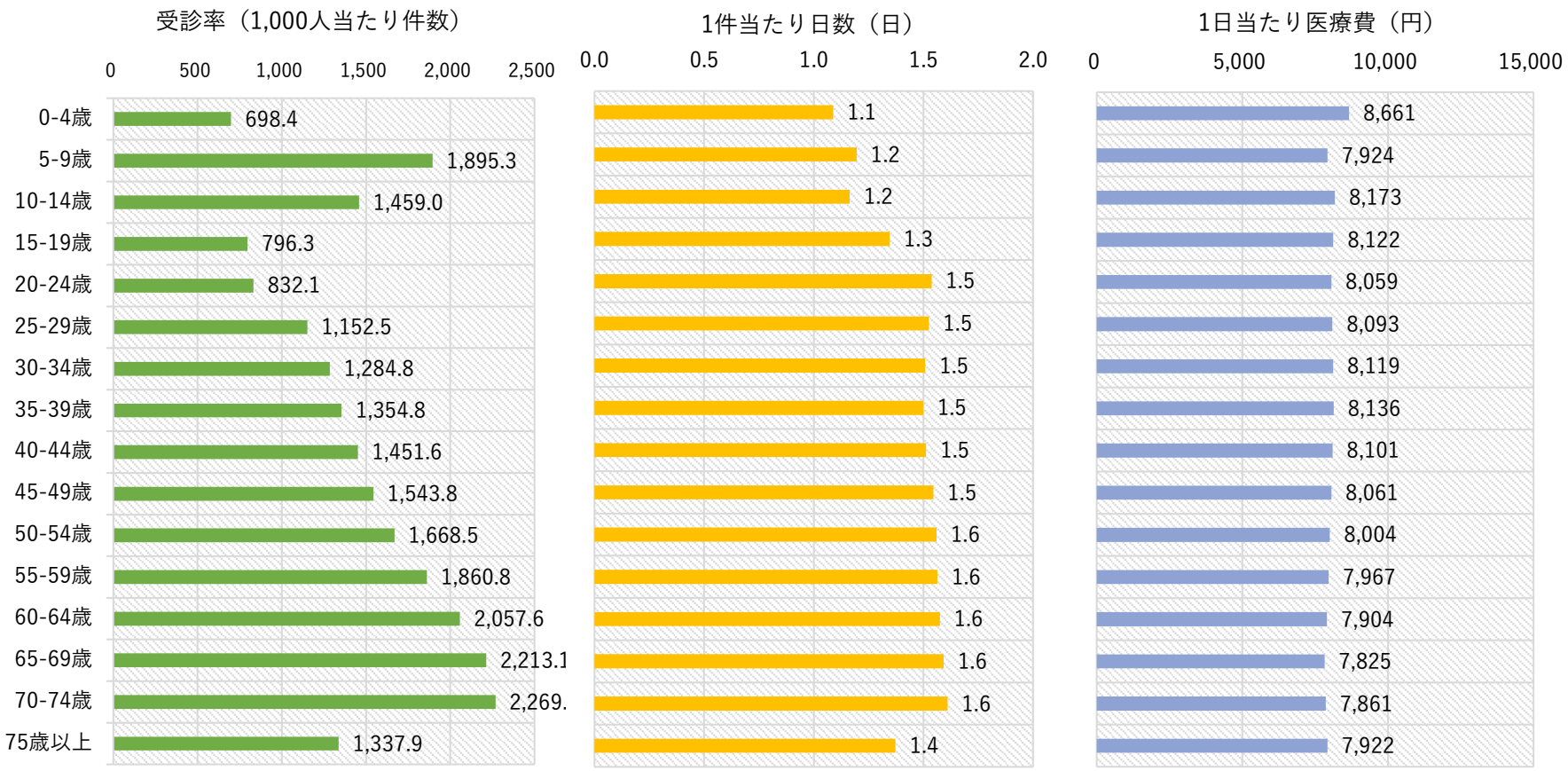


【参考】歯科３疾患別にみた医療費３要素分解

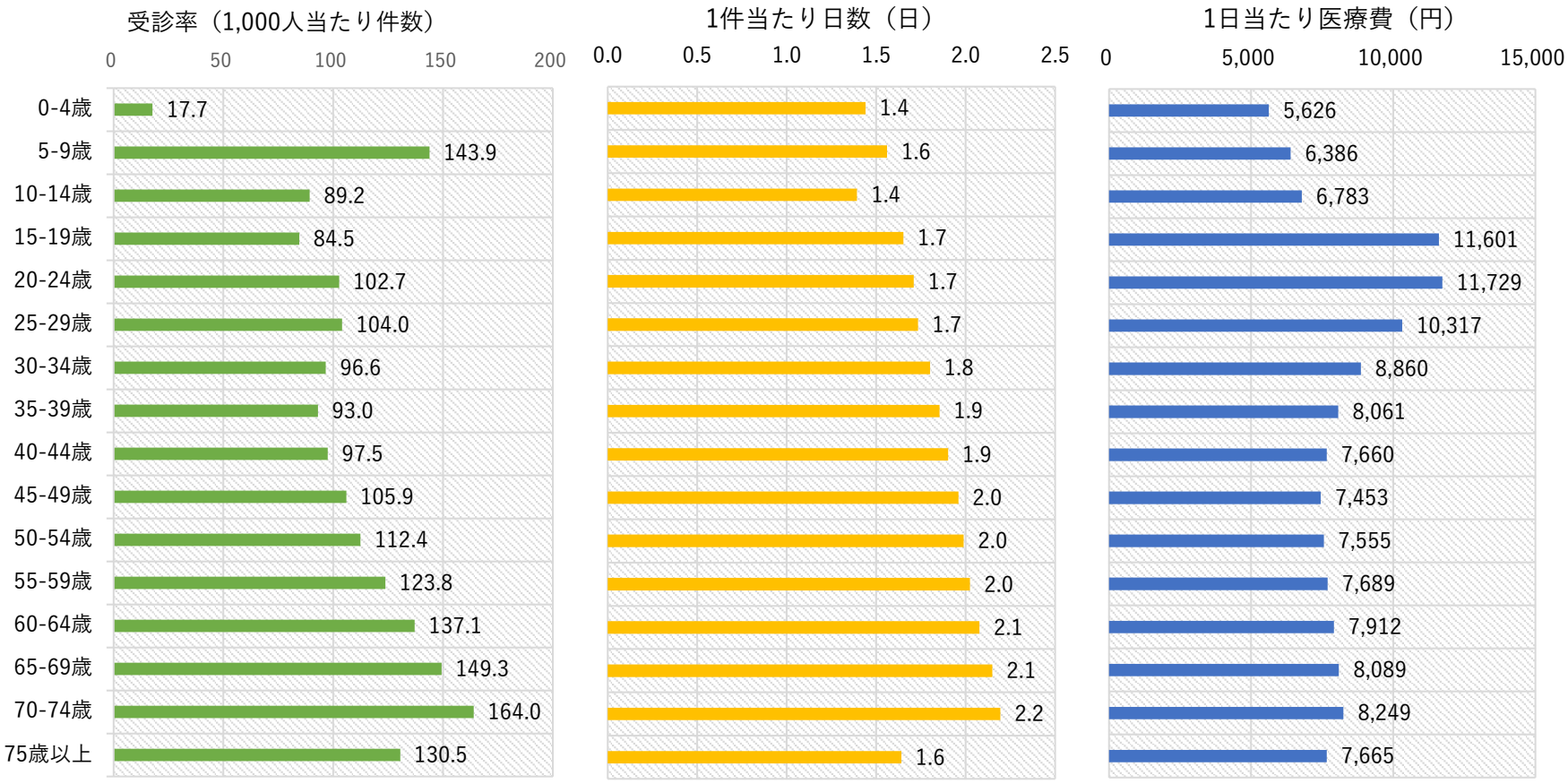
【う蝕】



【歯肉炎・歯周疾患】


受診率（1,000人当たり件数）
0
500
1,000
1,500
2,000
2,500
1件当たり日数（日）
0.0
0.5
1.0
1.5
2.0
1日当たり医療費（円）
0
5,000
10,000
15,000
0-4歳 698.4 1.1 8,661
5-9歳 1,895.3 1.2 7,924
10-14歳 1,459.0 1.2 8,173
15-19歳 796.3 1.3 8,122
20-24歳 832.1 1.5 8,059
25-29歳 1,152.5 1.5 8,093
30-34歳 1,284.8 1.5 8,119
35-39歳 1,354.8 1.5 8,136
40-44歳 1,451.6 1.5 8,101
45-49歳 1,543.8 1.5 8,061
50-54歳 1,668.5 1.6 8,004
55-59歳 1,860.8 1.6 7,967
60-64歳 2,057.6 1.6 7,904
65-69歳 2,213.1 1.6 7,825
70-74歳 2,269. 1.6 7,861
75歳以上 1,337.9 1.4 7,922

【歯・歯の支持組織の障害】


受診率（1,000人当たり件数）
0
50
100
150
200
1件当たり日数（日）
0.0
0.5
1.0
1.5
2.0
2.5
1日当たり医療費（円）
0
5,000
10,000
15,000
0-4歳 17.7 1.4 5,626
5-9歳 143.9 1.6 6,386
10-14歳 89.2 1.4 6,783
15-19歳 84.5 1.7 11,601
20-24歳 102.7 1.7 11,729
25-29歳 104.0 1.7 10,317
30-34歳 96.6 1.8 8,860
35-39歳 93.0 1.9 8,061
40-44歳 97.5 1.9 7,660
45-49歳 105.9 2.0 7,453
50-54歳 112.4 2.0 7,555
55-59歳 123.8 2.0 7,689
60-64歳 137.1 2.1 7,912
65-69歳 149.3 2.1 8,089
70-74歳 164.0 2.2 8,249
75歳以上 130.5 1.6 7,665